

(4) 発生毒性試験 (ウサギ①)

NZW ウサギ (一群雌 16 匹) の妊娠 7~19 日に強制経口 (原体 : 0、7、15 及び 30 mg/kg 体重/日、溶媒 : CMC 水溶液) 投与して、発生毒性試験が実施された。

いずれの投与量においても検体投与による影響は認められなかったため、無毒性量は母動物、胎児とも本試験の最高用量である 30 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。(参照 2)

(5) 発生毒性試験 (ウサギ②)

NZW ウサギ (一群雌 18 匹) の妊娠 6~18 日に強制経口 (原体 : 0、2、10 及び 50 mg/kg 体重/日、溶媒 : CMC 水溶液) 投与して、発生毒性試験が実施された。

50 mg/kg 体重/日投与群母動物において、下痢及び摂餌量低下を伴う体重増加抑制が認められた。胎児には検体投与による影響は認められなかった。

本試験の無毒性量は母動物で 10 mg/kg 体重/日、胎児で本試験の最高用量である 50 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。(参照 2)

(6) 発生毒性試験 (ラット②) <参考資料>⁴

2 世代繁殖試験 [12. (1)] の SD ラット (平均検体摂取量は表 38 参照) の各世代第 2 産目において妊娠ラット (一群雌 5~10 匹) の妊娠 19 日に帝王切開して、胎児に及ぼす影響が検討された。

表 38 2 世代繁殖試験 (ラット②) の平均検体摂取量

投与群 (ppm)		20	100	500
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	P 世代雌	1.54	7.73	38.2
	F ₁ 世代雌	1.62	8.07	39.9

いずれの投与群においても、母動物及び胎児とも検体投与の影響は認められなかった。(参照 2)

1.3. 遺伝毒性試験

オキシ銅原体の、細菌を用いた DNA 修復試験及び復帰突然変異試験、チャイニーズハムスター肺線維芽 (CHL) 細胞及び卵巣 (CHO) 細胞を用いた染色体異常試験、マウスを用いた宿主経路復帰突然変異試験、マウスの骨髄細胞を用

⁴ 本試験は、妊娠前から動物に検体が投与されており、発生への影響を明確に判断できないこと、独立した試験ではなく、試験要件を満たさないことから参考資料とした。

いた *in vitro* 染色体異常試験並びにラットの骨髄細胞を用いた小核試験が実施された。

結果は表 39 に示されている。

細菌を用いた復帰突然変異試験における *Salmonella typhimurium* TA100 株で陰性対照の 2 倍に満たない変異コロニー数の増加が認められ、弱陽性と判断された。また、CHO 細胞を用いた染色体異常試験で陽性が示されたが、2 つの *in vivo* 試験においていずれも陰性の結果が得られた。以上より、細菌を用いた復帰突然変異試験で極めて弱い反応が認められているものの、オキシシン銅に生体において問題となる遺伝毒性はないものと考えられた。(参照 2)

表 39 遺伝毒性試験概要

試験	対象	処理濃度・投与量	結果	
<i>in vitro</i>	DNA 修復試験	<i>Bacillus subtilis</i> (H17、M45 株)	1~50 µg/7 [°] レト (-S9)	陰性
	復帰突然変異試験	<i>Escherichia coli</i> (WP2 株)	0.1~10 µg/7 [°] レト (+/-S9)	陰性
		<i>S. typhimurium</i> (TA98、TA100、TA1535、TA1537 及び TA1538 株)		
	染色体異常試験	<i>S. typhimurium</i> (TA100 株)	1~100 µg/7 [°] レト (+/-S9)	弱陽性 (+S9) 陰性 (-S9)
チャイニーズハムスター肺線維芽細胞 (CHL)		①1.2~9.6 µg/mL (+S9 : 6 時間処理) ②0.017~0.136 µg/mL (-S9 : 24 時間処理) ③0.01~0.08 µg/mL (-S9 : 48 時間処理)	陰性	
	チャイニーズハムスター卵巣細胞 (CHO)	0.099~0.994 µg/mL (-S9 : 17.25 時間処理) 0.150~3.00 µg/mL (+S9 : 2.5 時間処理)	陽性 (-S9) 陰性 (+S9)	
宿主経路	復帰突然変異試験	ICR マウス <i>S. typhimurium</i> (G46 株)	200、600 mg/kg 体重 (2 回強制経口投与)	陰性
<i>in vivo</i>	染色体異常試験	ICR マウス (骨髄細胞) (一群雌雄各 15 匹)	563、1,125 及び 2,250 mg/kg 体重 (単回強制経口投与)	陰性
	小核試験	CFY ラット (骨髄細胞) (一群雌雄各 5 匹)	1,400、2,800 及び 5,600 mg/kg 体重 (2 回強制経口投与)	陰性

注) +/- S9 : 代謝活性化系存在下及び非存在下

Ⅲ. 食品健康影響評価

参照に挙げた資料を用いて農薬「オキシシン銅」の食品健康影響評価を実施した。

¹⁴C で標識したオキシシン銅のラットを用いた動物体内運命試験の結果、吸収後に錯体形態を維持しているかは不明であるが、経口投与されたオキシシン銅の体内吸収率は少なくとも 45.8%と算出された。血漿中では 0.5 時間で T_{max} に達し、その後、速やかに減少した。投与後 24 時間以内に 83%TAR 以上が尿糞中に排泄された。

¹⁴C で標識したオキシシン銅の植物体内運命試験の結果、いずれの植物においても残留放射能の主要成分は未変化のオキシシン銅又は代謝物 B であった。

野菜、果物等を用いた作物残留試験の結果、オキシシン銅の最大残留値は、温州みかん（果皮）の 36.0 mg/kg であった。

各種毒性試験結果から、オキシシン銅投与による影響は、主に体重（増加抑制）及び消化器（嘔吐、軟便、下痢等）に認められた。神経毒性、発がん性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体において問題となる遺伝毒性は認められなかった。

各種試験結果から、農産物中の暴露評価対象物質をオキシシン銅（親化合物のみ）と設定した。

各試験における無毒性量等は表 40 に示されている。

食品安全委員会は、各試験で得られた無毒性量のうち最小値がイヌを用いた 1 年間慢性毒性試験及び 90 日間亜急性毒性試験の 1 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.01 mg/kg 体重/日を一日摂取許容量（ADI）と設定した。

ADI	0.01 mg/kg 体重/日
(ADI 設定根拠資料①)	慢性毒性試験
(動物種)	イヌ
(期間)	1 年間
(投与方法)	カプセル
(無毒性量)	1 mg/kg 体重/日
(安全係数)	100
(ADI 設定根拠資料②)	亜急性毒性試験
(動物種)	イヌ
(期間)	90 日間
(投与方法)	強制経口
(無毒性量)	1 mg/kg 体重/日
(安全係数)	100

暴露量については、当評価結果を踏まえて暫定基準値の見直しを行う際に確認することとする。

表 40 各試験における無毒性量等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日) ¹⁾	
			食品安全委員会	参考 (農薬抄録)
ラット	90日間 亜急性 毒性試験 ①	0、100、500、2,000 ppm 雄：0、6、31、138 雌：0、7、36、148	雄：138 雌：148 雌雄：毒性所見なし	雄：138 雌：148 雌雄：毒性所見なし
	90日間 亜急性 毒性試験 ②	0、20、100、500、 2,500	雌雄：100 雌雄：体重増加抑制傾向 等	雌雄：100 雌雄：体重増加抑制傾向 等
	28日間 亜急性 神経毒性 試験	0、200、1,000、5,000 ppm 雄：0、17.7、89.2、 448 雌：0、18.0、89.2、 451	雄：89.2 雌：89.2 雌雄：下痢等 (亜急性神経毒性は認め られない)	雄：89.2 雌：89.2 雌雄：下痢等 (神経毒性は認められな い)
	2年間 発がん性 試験	0、20、200、2,000 ppm 雄：0、1.0、9.7、96.0 雌：0、1.3、12.5、125	雄：9.7 雌：12.5 雌雄：体重増加抑制等 (発がん性は認められな い)	雄：9.7 雌：12.5 雌雄：体重増加抑制等 (発がん性は認められな い)
	2世代 繁殖試験 ①	0、20、100、500 ppm P雄：0、1.59、6.49、 33.2 P雌：0、1.54、7.73、 38.2 F ₁ 雄：0、1.44、6.84、 34.4 F ₁ 雌：0、1.62、8.07、 39.9	親動物 P雄：33.2 P雌：38.2 F ₁ 雄：34.4 F ₁ 雌：39.9 児動物 P雄：6.49 P雌：7.73 F ₁ 雄：6.84 F ₁ 雌：8.07 親動物：毒性所見なし 児動物：胃壁肥厚 (繁殖能に対する影響は 認められない)	親動物及び児動物 P雄：33.2 P雌：34.4 F ₁ 雄：38.2 F ₁ 雌：39.9 親動物及び児動物：毒性 所見なし (繁殖能に対する影響は 認められない)
	2世代 繁殖試験 ②	0、100、400、1,600 ppm P雄：0、7.9、30.5、 128 P雌：0、10.0、41.5、 164 F ₁ 雄：0、8.1、32.9、 132 F ₁ 雌：0、9.4、38.9、 150	親動物： P雄：128 P雌：164 F ₁ 雄：132 F ₁ 雌：150 児動物： P雄：30.5 P雌：41.5 F ₁ 雄：32.9 F ₁ 雌：38.9	親動物： P雄：118 P雌：158 F ₁ 雄：120 F ₁ 雌：146 児動物： P雄：28.1 P雌：40.0 F ₁ 雄：30.0 F ₁ 雌：38.1

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日) ¹⁾	
			食品安全委員会	参考 (農薬抄録)
			親動物：毒性所見なし 児動物：体重増加抑制及 び眼瞼開裂遅延 (繁殖能に対する影響は 認められない)	親動物：毒性所見なし 児動物：体重増加抑制等 (繁殖能に対する影響は 認められない)
	発生毒性 試験	0, 10, 50, 150	母動物：50 胎児：150 母動物：体重増加抑制等 胎児：毒性所見なし (催奇形性は認められ ない)	母動物及び胎児：10 母動物：体重増加抑制等 胎児：低体重 (催奇形性は認められ ない)
マウス	90日間 亜急性 毒性試験 ①	0, 100, 500, 2,000 ppm 雄：0, 14, 71, 274 雌：0, 18, 87, 329	雄：14 雌：18 雌雄：肝臓及び脾臓へモ ジデリン沈着等	雄：14 雌：18 雌雄：肝臓へモジデリン 沈着等
	90日間 亜急性 毒性試験 ②	0, 300, 1,000, 3,000, 6,000 ppm 雄：0, 50, 148, 438, 979 雌：0, 67, 200, 578, 1,070	雄：438 雌：200 雄：腎絶対及び比重量低 下 雌：PLT 増加	雄：148 雌：200 雌雄：摂餌量低下を伴う 体重減少又は増加抑制
	18か月間 慢性毒性/ 発がん性 併合試験	0, 50, 300, 1,800 ppm 雄：0, 8.13, 50.3, 300 雌：0, 10.2, 61.1, 361	雄：50.3 雌：61.1 雌雄：小腸粘膜上皮増生 等 (発がん性は認められ ない)	雄：50.3 雌：10.2 雄：十二指腸粘膜増生或 いは異形成 雌：摂餌量低下 (発がん性は認められ ない)
	18か月間 発がん性 試験	0, 100, 400, 1,500, 6,000 ppm 雄：0, 14.5, 57.2, 208, 856 雌：0, 16.1, 66.2, 246, 1,050	雄：208 雌：66.2 雄：胃潰瘍化 雌：Hb、Ht 低下 (発がん性は認められ ない)	雄：57.2 雌：66.2 雄：胃潰瘍化 雌：Hb、Ht 低下 (発がん性は認められ ない)
ウサギ	発生毒性 試験①	0, 7, 15, 30	母動物及び胎児：30 母動物及び胎児： 毒性所見なし (催奇形性は認められ ない)	母動物：15 胎児：30 母動物：摂餌量減少 胎児：毒性所見なし (催奇形性は認められ ない)
	発生毒性 試験②	0, 2, 10, 50	母動物：10 胎児：50 母動物：体重増加抑制等	母動物：2 胎児：50 母動物：摂餌量減少等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日) ¹⁾	
			食品安全委員会	参考 (農薬抄録)
			胎児：毒性所見なし (催奇形性は認められない)	胎児：毒性所見なし (催奇形性は認められない)
イヌ	90日間 亜急性 毒性試験	0、1、5、50	雌雄：1 雌雄：軟便等	雌雄：1 雌雄：嘔吐等
	1年間 慢性毒性 試験	0、1、5、25	雌雄：1 雌雄：嘔吐、軟便	雌雄：1 雌雄：嘔吐、軟便等
	2年間 慢性毒性 試験	0、10、40、200、1000、 3,000 ppm 雄：0、0.3、1.4、6、 35、96 雌：0、0.3、1.1、7、 30、103	雄：6 雌：7 雄：α ₁ Glob 及びβGlob 増 加 雌：TP 低下	雄：35 雌：7 雄：肝硬変等 雌：肺胸膜下浸潤等
ADI			NOAEL：1 SF：100 ADI：0.01	NOAEL：1 SF：100 ADI：0.01
ADI 設定根拠資料			イヌ 1年間慢性毒性試験 イヌ 90日間亜急性毒性 試験	イヌ 1年間慢性毒性試験

NOAEL：無毒性量 LOAEL：最小毒性量 SF：安全係数 ADI：一日摂取許容量

1)：無毒性量欄には、最小毒性量で認められた主な毒性所見等を記した。

—：無毒性量は設定できなかった。

<別紙 1 : 代謝物/分解物略称>

記号	化学名
B	8-ヒドロキシキノリン
C	2、8-ジヒドロキシキノリン
D	2、8、x-トリヒドロキシキノリン
E	2、7、8-トリヒドロキシキノリン
F	2、7、8-トリヒドロキシキノリル-グルクロニド
H	8-ヒドロキシキノリル-グルクロニド
I	8-ヒドロキシキノリン-O-サルフェート

<別紙 2 : 検査値等略称>

略称	名称
A/G 比	アルブミン/グロブリン比
ai	有効成分量 (active ingredient)
Alb	アルブミン
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ [=グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ (GPT)]
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ [=グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ (GOT)]
Bil	ビリルビン
ChE	コリンエステラーゼ
C _{max}	最高濃度
CMC	カルボキシメチルセルロース
Glob	グロブリン
Hb	ヘモグロビン (血色素量)
Ht	ヘマトクリット値 [=血中血球容積 (PCV)]
LC ₅₀	半数致死濃度
LD ₅₀	半数致死量
Lym	リンパ球数
PHI	最終使用から収穫までの日数
PLT	血小板数
RBC	赤血球数
Seg	分葉核好中球数
T _{1/2}	消失半減期
TAR	総投与 (処理) 放射能
TLC	薄層クロマトグラフ
T _{max}	最高濃度到達時間
TP	総蛋白質
TRR	総残留放射能
WBC	白血球数

<別紙3：作物残留試験成績>

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験圃場数	使用量 (g ai/ha)	回数(回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
小麦 (露地) (種子/外皮を除く) 昭和57年	1	2,000 ^{WP}	1	258	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04
	1		1	246	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04
小麦 (露地) (子実) 昭和57年度	1	2,400 ^{WP}	4	60	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
小麦 (種子) 昭和55年度	1	種子消毒 ^{WP} 1)4%浸漬 2)0.4%浸漬 3)1%粉衣 + 3,000 ^{WP}	3 ¹⁾	215	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01
			3 ²⁾	215	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01
			3 ³⁾	215	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01
	1	種子消毒 ^{WP} 1)4%浸漬 2)0.4%浸漬 3)1%粉衣 + 5,000 ^{WP}	3 ¹⁾	199	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01
			3 ²⁾	199	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01
			3 ³⁾	199	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01
小麦 (青刈り) 昭和55年度	1	種子消毒 ^{WP} 1)4%浸漬 2)0.4%浸漬 3)1%粉衣 + 3,000 ^{WP}	3 ¹⁾	169	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01
			3 ²⁾	169	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01
			3 ³⁾	169	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01
	1	種子消毒 ^{WP} 1)4%浸漬 2)0.4%浸漬 3)1%粉衣 + 5,000 ^{WP}	3 ¹⁾	165	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01
			3 ²⁾	165	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01
			3 ³⁾	165	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01
小麦 (露地) (種子) 昭和56年度	1	4,000 ^{WP}	1	226	/		<0.01	<0.01
小麦 (露地) (青刈り) 昭和56年度	1		1	184	/		<0.01	<0.01

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
小麦 (露地) (種子) 昭和 56 年度	1	4,000 ^{WP}	2	175			<0.01	<0.01
小麦 (露地) (青刈り) 昭和 56 年度	1		2	205			<0.01	<0.01
小麦 (露地) (青刈り) 昭和 56 年度	1	種子消毒 ^{WP} 10%10 倍液 1)5%吹付 2)浸漬	1 ¹⁾ 1 ²⁾	131 131			<0.01 <0.01	<0.01 <0.01
小麦 (露地) (種子) 昭和 63 年度	1	種子消毒 ^{WP} 60%湿粉衣 (1%)1 回 +	3 2	253 208			<0.02 <0.02	<0.02 <0.02
小麦 (露地) (青刈り) 昭和 63 年度	1	6,000 ^{WP} 1~2 回	3 2	225 161	<0.02 <0.02	<0.02 <0.02	<0.02 <0.02	<0.02 <0.02
小麦 (露地) (種子) 平成 2 年度	1	4,800/2,400 ^{WP}	5 5	79 84	<0.02 <0.02	<0.02 <0.02	<0.02 <0.02	<0.02 <0.02
小麦 (露地) (種子) 平成 5 年度	1		5 5	63 60	<0.02 <0.02	<0.02 <0.02	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01
大麦 (露地) (種子) 昭和 56 年度	1	3,000 ^{WP}	2	154			<0.01	<0.01
大麦 (露地) (青刈り) 昭和 63 年度	1	種子消毒 ^{WP} 40%10 倍液 1)5%吹付 2)浸漬	1 ¹⁾ 1 ²⁾	131 131			<0.01 <0.01	<0.01 <0.01
大麦 (露地) (種子) 平成 5 年度	1	4,800/2,400 ^{WP}	6	60	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
ばれいしょ (露地) (塊根) 平成 1 年度	1	1,600/1,680 ^{WP}	4	14	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			4	21	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			4	30	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	1	2,400 ^{WP}	4	14	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			4	21	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			4	30	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
ばれいしょ (露地) (塊根) 平成4年度	1	708~1,670WP	5	14	/	/	0.032	0.031
			5	21			0.032	0.028
			5	28			0.029	0.028
	1	2,500WP	5	14			0.022	0.020
			5	21			0.031	0.029
			5	28			0.020	0.018
	1		5	14			0.005	0.005
			5	21			0.008	0.008
			5	28			0.012	0.009
	1		5	14			0.032	0.032
			5	21			0.012	0.012
			5	28			0.009	0.008
ばれいしょ (露地) (塊根) 昭和57年度	1	3,130~ 5,630WP	4	14	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01
	1	1,000WP	4	14	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01
ばれいしょ (露地) (塊根) 昭和63年度	1	600WP	3	30	0.02	0.02	0.02	0.02
	1	1,200WP	3	44	0.02	0.02	<0.02	<0.02
ばれいしょ (露地) (塊根) 平成7年度	1	1,290WP 1)+発芽前 60% 50倍液 浸漬	5 5 ¹⁾	14 14	/	/	0.01	0.01
	1	2,570WP 1)+発芽前 60% 50倍液 浸漬	5 5 ¹⁾	14 14			0.02	0.02
ばれいしょ (露地) (塊根) 平成21年度	1	1,330/1,500WP	5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1	1,670WP	5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ながいも (露地) (塊根) 昭和53年度	1	1,600~ 2,400WP	5	14	<0.04	<0.04	0.011	0.009
	1	2,000WP	5	14	<0.04	<0.04	0.009	0.007
やまいも (露地) (塊根) 平成11年度	1	1,750SC	5 5	14 21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	1	1,400SC	5 5	14 21	<0.005	<0.005	0.007 0.010	0.007 0.010
こんにやくいも (露地) (球茎) 平成4年度	1	1,250SC	8	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			8	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			8	35	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	1		8	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
8			28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
8	35		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
こんにやくいも (露地) (球茎) 昭和47年度	1	1,200WP	4 8	30 46	/	/	0.026	0.021
				0.025			0.021	

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
こんにゃくいも (露地) (球茎) 平成3年度	1	2,000 ^{WP}	8	30	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
	1		8	30	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
だいこん (露地) (根部) 平成8年度	1	1,880 ^{WP}	3	21	0.05	0.05	0.07	0.07
	1		3	28	0.02	0.02	0.01	0.01
			3	21	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
だいこん (露地) (葉部) 平成8年度	1	1,880 ^{WP}	3	21	2.73	2.63	2.44	2.40
	1		3	28	0.82	0.82	0.45	0.44
			3	21	0.10	0.10	0.21	0.21
			3	28	0.02	0.02	<0.01	<0.01
だいこん (露地) (葉部) 昭和62年度	1	1,880 ^{WP}	3	21	0.07	0.06	0.05	0.05
	1		3	21	0.25	0.24	0.17	0.15
			3	21	<0.05	<0.05	0.12	0.1
			3	21	<0.05	<0.05	0.12	0.11
だいこん (露地) (葉部) 平成5年度	1	288~1,000 ^{WP}	3	21	0.02	0.02	0.01	0.01
	1	1,500 ^{WP}	3	30	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
			3	21	0.05	0.05	0.11	0.10
			3	30	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
だいこん (露地) (葉部) 平成7年度	1	1,500 ^{WP}	3	21	/		0.29	0.28
	1		3	21			0.12	0.12
はくさい (露地) (茎葉) 昭和46年度	1	1,200 ^{WP}	3	31	/		<0.05	<0.05
はくさい (露地) (茎葉) 平成2年度	1	1,170 ^{SC}	5	30			<0.05	<0.05
	1		5	45	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	1	700 ^{SC}	5	30	/		<0.05	<0.05
			5	45			<0.05	<0.05
1	5	30	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05		
キャベツ (露地) (葉球) 平成6年度	1	1,670 ^{WP}	5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1		5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
キャベツ (露地) (葉球) 平成7年度	1	2,100 ^{SC}	3	14	0.02	0.02	<0.01	<0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1	1,310 ^{SC}	3	14	0.05	0.04	<0.01	<0.01
キャベツ (露地) (葉球) 昭和58年度	1	2,100 ^{SC}	3	14	0.18	0.18	0.07	0.06
			3	21	0.05	0.04	<0.01	<0.01
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1	1,310 ^{SC}	3	14	0.05	0.04	0.05	0.04
キャベツ (露地) (葉球) 昭和58年度	1	1,600 ^{WP}	3	14	0.14	0.14	0.36	0.35
			3	21	0.16	0.15	0.18	0.18
			3	30	0.08	0.07	0.16	0.16
	1	1,200~ 1,600 ^{WP}	3	14	0.13	0.12	0.24	0.24
キャベツ (露地) (葉球) 昭和61年度	1	1,600 ^{WP}	3	21	<0.05	<0.05	0.24	0.24
			3	28	<0.05	<0.05	0.17	0.16
			3	14	0.05	0.05	0.15	0.14
キャベツ (露地) (葉球) 平成2年度	1	612~875 ^{SC}	3	14	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05
			3	21	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05
			3	21	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05
	1	875 ^{SC}	3	14	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05
キャベツ (露地) (葉球) 平成12年度	1	2,800 ^{WP}	3	14	0.11	0.11	0.10	0.10
			3	21	0.04	0.04	0.04	0.04
			3	21	0.03	0.03	0.04	0.04
	1	2,800 ^{WP}	3	14	0.25	0.25	0.17	0.16
ブロッコリー (露地) (花蕾) 平成5年度	1	2,400 ^{WP}	3	14	0.65	0.64	1.01	1.00
			3	21	0.24	0.24	0.37	0.35
			3	14	0.24	0.24	0.30	0.29
	1	1,200 ^{WP}	3	14	0.83	0.83	1.00	1.00
ブロッコリー (露地) (花蕾) 平成7年度	1	2,400 ^{WP}	3	21	0.55	0.54	0.67	0.66
			3	14	0.53	0.52	0.52	0.51
			3	21	0.65	0.64	1.01	1.00
	1	1,500 ^{WP}	3	14	0.24	0.24	0.30	0.29
ブロッコリー (露地) (花蕾) 昭和58年度	1	1,000 ^{WP}	3	14	<0.03	<0.03	0.62	0.62
			3	21	<0.03	<0.03	0.04	0.04
			3	14	0.24	0.24	0.30	0.29
	1	1,250 ^{WP}	3	14	0.25	0.24	0.25	0.24
ブロッコリー (露地) (花蕾) 平成7年度	1	2,400 ^{WP}	3	21	0.03	0.03	0.03	0.03
			3	14	0.01	0.01	0.01	0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1	1,500 ^{WP}	3	14	0.01	0.01	0.01	0.01
ブロッコリー (露地) (花蕾) 昭和58年度	1	1,000 ^{WP}	3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.01	0.01	0.01	0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1	1,000 ^{WP}	3	14	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03
レタス (露地) (可食部) 昭和52年度	1	500 ^{WP}	5	21	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02
			5	28	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02
			5	21	0.22	0.21	0.42	0.41
	1	500 ^{WP}	5	28	0.12	0.12	0.20	0.18
レタス (施設) (茎葉) 平成3年度	1	750 ^{WP}	5	21	0.06	0.06	0.06	0.06

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
レタス (施設) (茎葉) 平成4年度	1	1,250 ^{WP}	5	21	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
レタス (施設) (茎葉) 平成5年度	1	1,330 ^{WP}	5	28	0.02	0.02	0.66	0.57
		1,330 ^{WP} 4回 875 ^{SC} 1回	5	28	<0.01	<0.01	0.16	0.14
		875 ^{SC}	5	28	0.02	0.02	0.03	0.02
	1	1,000 ^{WP}	5	28	0.02	0.02	0.02	0.02
		1,000 ^{WP} 4回 656 ^{SC} 1回	5	28	0.02	0.02	0.01	0.01
		656 ^{SC}	5	28	<0.01	<0.01	0.01	0.01
レタス (露地) (茎葉) 昭和63年度	1	1,360 ^{WP}	5	21	0.01	0.01	0.02	0.02
			5	30	0.01	0.01	0.02	0.02
			5	45	0.01	0.01	0.01	0.01
	1	1,360 ^{WP}	5	21	0.70	0.70	0.70	0.70
			5	30	0.52	0.48	0.34	0.33
			5	45	0.14	0.14	0.13	0.12
レタス (露地) (茎葉) 平成2年度	1	1,360 ^{WP}	5	21	0.29	0.28	0.18	0.18
			5	29	0.20	0.20	0.09	0.08
	1		5	21	0.02	0.02	0.04	0.04
			5	30	0.02	0.01	<0.01	<0.01
レタス (露地) (茎葉) 平成2年度	1	393~875 ^{SC}	5	21	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			5	30	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			5	45	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	1	875 ^{SC}	5	21	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			5	30	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			5	45	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
レタス (露地) (茎葉) 平成2年度	1	262~583 ^{SC}	5	21	/		<0.05	<0.05
			5	30			<0.05	<0.05
			5	45			<0.05	<0.05
	1	583 ^{SC}	5	21			<0.05	<0.05
			5	30			<0.05	<0.05
			5	45			<0.05	<0.05
レタス (露地) (茎葉) 平成5年度	1	1,360 ^{WP}	5	21	/		<0.05	<0.05
	1	1,090~ 1,360 ^{WP}	5	21			<0.05	<0.05
レタス (露地) (茎葉) 平成6年度	1	1,330 ^{WP} 4回 875 ^{SC} 1回	5	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1		5	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
レタス (露地) (茎葉) 平成6年度	1	1,330 ^{WP}	5	21	0.09	0.08	0.03	0.03
	1		5	21	0.05	0.04	0.08	0.08
たまねぎ (露地) (鱗茎) 昭和51年度	1	1,330 ^{WP}	3	14	<0.04	<0.04	<0.006	<0.006
	1		3	14	<0.04	<0.04	<0.006	<0.006

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
たまねぎ (露地) (鱗茎) 平成4年度	1	1,050~ 1,670 ^{WP}	3	14	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	21	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	1	1,330 ^{WP}	3	14	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	21	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ねぎ (露地) (茎葉) 平成21年度	1	1,000 ^{WP}	5	14	0.32	0.32	0.28	0.28
			5	21	0.06	0.06	0.12	0.12
			5	28	0.02	0.02	0.01	0.01
	1	895 ^{WP}	5	14	0.26	0.26	0.26	0.26
			5	21	0.10	0.10	0.13	0.12
			5	28	0.04	0.04	0.05	0.05
にんにく (露地) (鱗茎) 平成9年度	1	1,200 ^{WP}	5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1		5	7	<0.01	<0.01	0.02	0.02
			5	14	<0.01	<0.01	0.02	0.02
			5	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
にんにく (露地) (鱗茎) 平成13年度	1	1,880 ^{WP}	5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1		5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	19	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
アスパラガス (露地) (若茎) 平成5年度	1	2,920 ^{SC}	5	218	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1		5	312	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
アスパラガス (露地) (若茎) 平成20年度	1	1,170 ^{SC}	5	3	/	/	0.25	0.25
			5	7			<0.01	<0.01
			5	14			<0.01	<0.01
	1	1,750 ^{SC}	5	3			0.47	0.46
			5	7			0.01	0.01
			5	14			<0.01	<0.01
食用ゆり (露地) (鱗片) 平成3年度	1	80%植付前 瞬間浸漬 ^{WP} 1)50倍 2)25倍	1 ¹⁾	146	0.011	0.010	<0.05	<0.05
			1 ²⁾	146	0.077	0.074	0.06	0.06
食用ゆり (露地) (鱗片) 平成3年度	1	80%50倍植付 前瞬間浸漬 ^{WP} 1)+960 ^{WP} 5回	1	177	0.011	0.010	<0.05	<0.05
			6 ¹⁾	30	0.010	0.010	<0.05	<0.05
にんじん (露地) (根部) 平成6年度	1	875 ^{SC}	5	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1		5	3	0.11	0.1	0.09	0.08
			5	7	0.06	0.06	0.03	0.02
			5	14	0.03	0.03	0.03	0.03
パセリ (露地) (茎葉) 昭和59年度	1	20,000 ^G	1	165	<0.08	<0.08	/	
トマト (露地) (可食部) 昭和48年	1	1,350 ^{WP}	5	3	/		0.17	0.16
			5	7			0.03	0.03
			5	14			0.02	0.02

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)					
					オキシソリン銅					
					公的分析機関		社内分析機関			
					最高値	平均値	最高値	平均値		
トマト (施設) (可食部) 昭和 48 年	1	1,500 ^{WP}	5	3	/		0.16	0.16		
			5	7			0.06	0.06		
			5	14			<0.02	<0.02		
トマト (露地) (果実) 昭和 51 年	1	4,500~ 6,000 ^{WP}	5	1	0.185	0.184	0.143	0.142		
			5	3	0.167	0.156	0.146	0.139		
			5	7	0.169	0.148	0.143	0.137		
			5	14	0.063	0.062	0.070	0.066		
	1	1,880 ^{WP}	5	1	0.717	0.681	0.710	0.705		
			5	3	0.372	0.368	0.398	0.381		
			5	7	0.220	0.212	0.305	0.304		
			5	14	0.094	0.086	0.100	0.096		
5	21		5	21	0.069	0.059	0.072	0.069		
			1	2,250 ^{WP}	5	1	1.38	1.37	1.16	1.12
					5	3	1.64	1.62	1.44	1.42
					5	7	1.14	1.14	0.92	0.90
1	2,250 ^{WP}	5			1	0.93	0.91	1.12	1.12	
		5			3	0.97	0.96	0.79	0.79	
		5			7	1.00	0.99	0.90	0.90	
きゅうり (施設) (果実) 昭和 58 年度	1	3,000 ^{WP}	3	1	0.58	0.56	0.61	0.61		
			3	3	0.40	0.39	0.44	0.44		
			3	7	0.16	0.16	0.11	0.10		
			5	1	0.48	0.46	0.43	0.43		
			5	3	0.17	0.17	0.26	0.26		
			5	7	0.13	0.13	0.15	0.14		
	1	2,500 ^{WP}	3	1	0.66	0.65	0.79	0.78		
			3	3	0.25	0.24	0.22	0.22		
			3	7	0.10	0.10	0.12	0.12		
			5	1	1.02	0.98	0.87	0.87		
			5	3	0.37	0.36	0.37	0.37		
			5	7	0.11	0.10	0.19	0.18		
			1	3,000 ^{WP}	3	1	0.48	0.46	0.67	0.64
					3	3	0.22	0.21	0.21	0.20
3	7	0.08			0.08	0.06	0.06			
5	1	0.24			0.24	0.50	0.50			
5	3	0.15			0.14	0.19	0.18			
5	7	0.07			0.07	0.06	0.06			
1	3,000 ^{WP}	3			1	0.71	0.70	0.70	0.70	
		3			3	0.15	0.14	0.46	0.46	
		3			7	0.06	0.06	0.04	0.04	
		5			1	0.36	0.36	0.60	0.60	
5			5	3	0.56	0.55	0.35	0.35		
			5	7	0.06	0.06	0.09	0.09		
			1	625 ^{WP}	3	3	0.14	0.13	0.11	0.11
					3	7	0.18	0.17	0.06	0.06
1	375,500, 625 ^{WP}	7	3	3	0.26	0.24	0.15	0.14		
			7	7	0.18	0.18	0.10	0.10		
きゅうり (露地) (可食部) 昭和 50 年度	1	1,000 ^{WP}	3	3	0.10	0.10	0.13	0.12		
			3	7	0.04	0.04	0.09	0.08		
			5	3	0.06	0.06	0.17	0.16		
			5	7	0.06	0.06	0.08	0.08		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)					
					オキシシン銅					
					公的分析機関		社内分析機関			
					最高値	平均値	最高値	平均値		
きゅうり (施設) (果実) 平成1年度	1	1,670WP	5	1	0.16	0.16	0.36	0.36		
			5	3	0.29	0.29	0.35	0.34		
			5	6	0.23	0.23	0.13	0.12		
	1	1,000WP	5	1	0.47	0.46	0.28	0.28		
			5	3	0.30	0.30	0.27	0.26		
			5	6	0.20	0.19	0.16	0.16		
			5	2,080WP	5	1	0.55	0.51	0.57	0.55
					5	3	0.15	0.14	0.18	0.18
5	7	<0.05	<0.05	0.14	0.13					
1	1,250WP	5	1	0.15	0.14	0.18	0.18			
		5	3	0.06	0.06	0.14	0.13			
		5	7	<0.05	<0.05	0.07	0.06			
		5	1,050SC	5	1	0.22	0.21	0.20	0.20	
				5	3	0.16	0.16	0.19	0.18	
5	7	0.21	0.20	0.22	0.22					
1	1,050SC	5	1	0.21	0.20	0.20	0.20			
		5	3	0.19	0.18	0.15	0.15			
		5	7	0.16	0.15	0.19	0.18			
		3	750~1,880WP	3	1	0.08	0.07	0.08	0.06	
				3	3	<0.03	<0.03	0.18	0.15	
1	750~1,880WP	3	7	0.04	0.02	0.08	0.08			
		3	14	<0.03	<0.03	0.03	0.02			
		5	1	0.14	0.12	0.28	0.19			
		5	3	<0.03	<0.03	0.18	0.16			
		5	7	0.04	0.02	0.16	0.15			
		5	14	<0.03	<0.03	0.04	0.04			
		1	2,250WP	3	3	0.05	0.05	0.10	0.10	
				3	7	0.06	0.05	0.06	0.06	
3	14			<0.03	<0.03	<0.03	<0.03			
5	3			0.07	0.06	0.13	0.12			
5	7			0.09	0.09	0.05	0.05			
5	14	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03					
1	500WP	5	1	0.10	0.10	0.140	0.130			
		5	3	0.08	0.07	0.088	0.078			
		5	5	<0.04	<0.04	0.033	0.033			
		5	10	<0.04	<0.04	0.020	0.020			
1	500WP	5	1	0.15	0.14	0.130	0.126			
		5	3	0.05	0.05	0.117	0.110			
		5	5	<0.04	<0.04	0.054	0.046			
		5	10	<0.04	<0.04	0.040	0.036			
1	1)875SC 2)666SC 3)333SC	1 ¹⁾	3	0.21	0.19	/				
		1 ²⁾	3	0.12	0.10					
		5 ²⁾	1	0.60	0.60					
	1 ¹⁾	3	0.22	0.22						
	1 ²⁾	3	0.32	0.30						
	5 ³⁾	1	0.20	0.20						
	1	1)1,070WP 2)800WP	1 ¹⁾	3	0.19			0.18		
			1 ²⁾	3	0.24			0.23		
1	1)1,070WP 2)800WP	1 ¹⁾	3	0.20	0.20					
		1 ²⁾	3	0.20	0.19					
1	204~875SC	5	1	0.559	0.553	0.48	0.46			
	875SC	5	1	0.531	0.522	0.39	0.38			

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)				
					オキシシン銅				
					公的分析機関		社内分析機関		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
きゅうり (施設) (果実) 平成4年度	1	583 ^{SC}	5	1	/	/	0.28	0.27	
			5	3			0.22	0.21	
			5	7			0.18	0.17	
	1		5	1			0.14	0.13	
			5	3			0.08	0.08	
5	7	0.02	0.02						
きゅうり (施設) (果実) 平成7年度	1	533~2,000 ^{WP} 3回 233~875 ^{SC} 2回	5	1	/	/	0.49	0.48	
			5	3			0.22	0.21	
			5	7			0.05	0.05	
		1,330 ^{WP} 3回 583 ^{SC} 2回	5	1			0.24	0.23	
			5	3			0.12	0.12	
			5	7			0.06	0.06	
きゅうり (施設) (果実) 平成8年度	1	666~2,500 ^{WP} 3回 233~875 ^{SC} 2回	5	1	0.29	0.27	0.48	0.45	
			5	3	0.23	0.22	0.21	0.21	
			5	7	0.05	0.05	0.04	0.04	
		1,670 ^{WP} 3回 583 ^{SC} 2回	5	1	0.42	0.4	0.45	0.42	
			5	3	0.13	0.11	0.19	0.17	
			5	7	0.07	0.07	0.07	0.06	
きゅうり (露地) (果実) 平成20年度	1	1,509~ 2,260 ^{WP}	5	1	0.85	0.82	1.06	1.06	
			5	3	0.41	0.40	0.30	0.30	
			5	7	0.07	0.07	<0.05	<0.05	
		2,260 ^{WP}	5	1	1.30	1.30	0.78	0.78	
			5	3	0.19	0.18	0.18	0.18	
			5	7	0.05	0.05	<0.05	<0.05	
かぼちゃ (施設) (果実) 平成1年度	1	1,670 ^{WP}	3	7	/	/	0.55	0.55	
			3	14			0.54	0.49	
			3	21			0.34	0.34	
	1		3	7			0.51	0.49	
			3	14			0.47	0.44	
			3	21			0.29	0.28	
かぼちゃ (施設) (果実) 平成20年度	1	1,500 ^{WP}	3	7	1.15	1.14	0.56	0.54	
			3	14	0.64	0.64	0.48	0.48	
			3	21	0.26	0.26	0.46	0.45	
	1	750 ^{WP}	3	7	0.63	0.63	0.57	0.56	
			3	14	0.42	0.42	0.12	0.12	
			3	21	0.43	0.42	0.09	0.08	
すいか (露地) (果肉) 昭和46年度	1	1,500 ^{WP}	3	10	/	/	0.10	0.90	
			3	20			0.07	0.04	
			3	30			0.05	0.03	
			5	10			0.22	0.18	
			5	20			0.29	0.19	
			5	30			0.07	0.04	
			すいか (露地) (果皮) 昭和46年度	3			10	0.03	0.02
				3			20	0.02	0.01
				3			30	0.02	0.01
				5			10	0.05	0.02
5	20	0.05		0.03					
5	30	<0.02	<0.02						

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
すいか (露地) (果肉) 昭和 46 年度	1	1,500 ^{WP}	3	14	/	/	0.02	0.02
			5	14			0.02	0.02
すいか (露地) (果皮) 昭和 46 年度	1	1,500 ^{WP}	3	14			0.09	0.08
			5	14			0.18	0.16
すいか (施設) (果肉) 平成 5 年度	1	1,093 ^{SC}	5	7	<0.01	<0.01	0.01	0.01
			5	10	<0.01	<0.01	0.02	0.02
			5	14	<0.01	<0.01	0.01	0.01
	1		5	7	0.01	0.01	0.04	0.04
			5	10	<0.01	<0.01	0.03	0.02
			5	14	<0.01	<0.01	0.02	0.02
すいか (施設) (果実) 平成 11 年度	1	1,400 ^{SC}	5	1	0.15	0.15	0.02	0.02
			5	3	0.10	0.10	0.03	0.02
			5	7	0.14	0.14	0.02	0.02
	1	1,490 ^{SC}	5	1	0.04	0.04	0.02	0.02
			5	3	0.03	0.03	<0.01	<0.01
			5	7	0.05	0.05	<0.01	<0.01
メロン (施設) (果実) 昭和 63 年度	1	2,220 ^{WP}	5	10	/	/	<0.05	<0.05
			5	14			<0.05	<0.05
	1		5	10			0.05	0.05
			5	14			<0.05	<0.05
メロン (施設) (果実) 平成 8 年度	1	1,460 ^{SC}	5	10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1		5	10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
しょうが (露地) (塊茎) 平成 10 年度	1	1,170 ^{SC}	5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1		5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
しそ (施設) (若茎) 平成 20 年度	1	600 ^{WP}	4	1	0.06	0.06	0.04	0.04
			4	3	0.05	0.04	0.04	0.04
			4	7	<0.02	<0.02	0.02	0.02
	1		4	1	0.05	0.04	0.07	0.06
			4	3	0.05	0.04	0.07	0.07
			4	7	<0.02	<0.02	0.04	0.04
いちご (施設) (果肉) 平成 3 年度	1	2,400 ^{WP}	3	105	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1		3	133	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
温州みかん (施設) (果肉) 平成6年度	1	4,080 ^{SC}	5	42	0.04	0.04	0.22	0.21
	1		5	42	0.03	0.03	0.28	0.27
温州みかん (施設) (果皮) 平成6年度	1		5	42	17.9	17.8	21.1	19.5
	1		5	42	25.3	25.2	36.0	34.4
温州みかん (施設) (果実ホール換算値) 平成6年度	1		5	42	3.11		4.17	
	1		5	42	7.84		11.4	
みかん (露地) (果肉) 昭和46年度	1	4,500 ^{SC}	5	30			<0.02	<0.02
			5	61			<0.02	<0.02
みかん (露地) (果肉) 昭和46年度	1	100 ^{SC}	5	58			<0.02	<0.02
みかん (露地) (果皮) 昭和46年度	1	4,500 ^{SC}	5	30			0.14	0.13
			5	61			0.09	0.09
みかん (露地) (果皮) 昭和46年度	1	100 ^{SC}	5	58			0.53	0.42
みかん (露地) (ホール) 昭和46年度	1	4,500 ^{SC}	5	30			<0.05	
			5	61			<0.05	
みかん (露地) (ホール) 昭和46年度	1	100 ^{SC}	5	58			0.13	
みかん (露地) (果肉) 昭和57年度	1	5,000 ^{SC}	5	30			0.04	0.04
			5	30			1.89	1.85
みかん (露地) (果皮) 昭和57年度	1	3,000 ^{SC}	5	60	0.05	0.05	0.018	0.016
			5	30	0.30	0.26	0.063	0.060
みかん (露地) (果皮) 昭和57年度	1	6,000 ^{SC}	5	60	0.13	0.11	0.047	0.040
			5	60	3.52	3.20	1.05	1.00
みかん (露地) (果皮) 昭和57年度	1	3,000 ^{SC}	5	60	18.0	17.4	12.5	12.0
			5	60	7.36	7.10	7.83	6.92
みかん (露地) (ホール) 昭和57年度	1	6,000 ^{SC}	5	60			0.28	
			5	30			4.73	
みかん (露地) (ホール) 昭和57年度	1	3,000 ^{SC}	5	60	0.92			2.00
			5	60	1.94			
みかん (露地) (果肉) 平成4年度	1	3,500 ^{SC}	5	30	0.02	0.02	0.01	0.01
			5	45	0.05	0.04	<0.01	<0.01
みかん (露地) (果肉) 平成4年度	1	4,080 ^{SC}	5	60	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
			5	30	0.19	0.18	0.05	0.05
みかん (露地) (果肉) 平成4年度	1	4,080 ^{SC}	5	45	0.05	0.04	0.02	0.02
			5	60	0.07	0.07	0.01	0.01

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験圃場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
みかん (露地) (果皮) 平成4年度	1	3,500 ^{SC}	5	30	1.89	1.86	2.94	2.84
			5	45	1.56	1.5	1.55	1.5
			5	60	0.34	0.34	0.28	0.27
	1	4,080 ^{SC}	5	30	4.42	4.2	6.09	6.08
			5	45	2.8	2.7	2.43	2.41
			5	60	1.85	1.83	2.08	2.04
みかん (露地) (ホール) 平成4年度	1	3,500 ^{SC}	5	30	0.42		0.60	
			5	45	0.40		0.35	
			5	60	0.08		0.06	
	1	4,080 ^{SC}	5	30	1.26		1.55	
			5	45	0.82		0.66	
			5	60	0.54		0.55	
みかん (露地) (果肉) 平成18年度	1	5.0%PF 30g/樹	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1		3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1		3	7	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05
			3	7	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05
夏みかん (露地) (果肉) 平成2年度	1	3,130 ^{SC}	3	30			<0.03	<0.03
			3	60			<0.03	<0.03
	1	4,220 ^{SC}	3	58			<0.03	<0.03
			3	58			<0.03	<0.03
夏みかん (露地) (果皮) 平成2年度	1	3,130 ^{SC}	3	30			0.91	0.90
			3	60			0.67	0.64
	1	4,220 ^{SC}	3	58			0.59	0.56
			3	58			0.59	0.56
夏みかん (露地) (果実ホール換算値) 平成2年度	1	3,130 ^{SC}	3	30			0.34	
			3	60			0.28	
	1	4,220 ^{SC}	3	58			0.33	
			3	58			0.22	
夏みかん (露地) (果肉) 平成2年度	1	5,000 ^{SC}	3	30			<0.03	<0.03
			3	60			<0.03	<0.03
	1	6,750 ^{SC}	3	58			<0.03	<0.03
			3	58			<0.03	<0.03
夏みかん (露地) (果皮) 平成2年度	1	5,000 ^{SC}	3	30			1.16	1.13
			3	60			0.44	0.43
	1	6,750 ^{SC}	3	58			0.81	0.78
			3	58			0.81	0.78
夏みかん (露地) (果実ホール換算値) 平成2年度	1	5,000 ^{SC}	3	30			0.45	
			3	60			0.18	
	1	6,750 ^{SC}	3	58			0.29	
			3	58			0.29	
夏みかん (露地・無袋) (果肉) 平成20年度	1	5,000 ^{SC}	3	30	0.09	0.08	<0.03	<0.03
			3	60	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03
			3	90	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03
	1	7,000 ^{SC}	3	30	0.12	0.12	0.08	0.08
			3	60	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03
			3	90	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
夏みかん (露地・無袋) (果皮) 平成 20 年度	1	5,000 ^{SC}	3	30	4.83	4.82	3.80	3.78
			3	60	1.38	1.38	1.91	1.88
			3	90	0.34	0.34	0.27	0.27
	1	7,000 ^{SC}	3	30	7.30	7.10	7.51	7.46
			3	60	2.21	2.16	2.81	2.77
			3	90	1.06	1.04	0.84	0.84
夏みかん (露地・無袋) (果肉) 平成 1 年度	1	5%PF 原液 剪定枝塗布	1	216	/		<0.05	<0.05
	1		1	192			<0.05	<0.05
	1		1	216			<0.05	<0.05
	1		1	192			<0.05	<0.05
すだち (露地・無袋) (果実) 平成 19 年度	1	5,000 ^{WP}	3	30	/		0.79	0.78
			3	60			0.02	0.02
			3	90			<0.01	<0.01
かぼす (露地・無袋) (果実) 平成 19 年度	1	6,000 ^{WP}	3	30	/		2.42	2.40
			3	60			0.09	0.09
			3	90			<0.01	<0.01
りんご (露地・無袋) (果実) 昭和 47 年度	1	3,330 ^{SC}	4	89	/		0.152	0.14
	1		4	100			0.120	0.11
			4	15			0.836	0.80
りんご (露地・無袋) (果実) 昭和 61 年度	1	5,000 ^{SC}	4	14	0.71	0.70	0.60	0.58
			4	21	0.36	0.34	0.35	0.34
			4	28	0.47	0.44	0.17	0.17
	1		4	14	0.28	0.28	0.24	0.23
			4	21	0.06	0.06	0.10	0.10
			4	28	0.08	0.08	0.04	0.04
りんご (露地・無袋) (果実) 平成 18 年度	1	5%PF 30~50g/樹 剪定枝・樹幹 に塗布	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1	5%PF30g/樹 剪定枝・樹幹 に塗布	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
りんご (無袋) (果実) 昭和 46 年度	1	300 ^{WP}	4	86	/		0.008	0.008
	1	7,000 ^{WP}	4	47			0.030	0.030
			4	60			0.019	0.012
			4	74			0.009	0.008
りんご (無袋) (果実) 昭和 47 年度	1	5%PF 原液塗布	1	89	0.01	0.01	0.016	0.013
			3	14	<0.01	<0.01	0.010	0.009
	1	5%PF30g/枝	1	137	0.01	0.01	0.009	0.008
			3	29	<0.01	<0.01	0.008	0.008

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)							
					オキシシン銅							
					公的分析機関		社内分析機関					
					最高値	平均値	最高値	平均値				
りんご (露地・無袋) (果実) 昭和 61 年度	1	5,000 ^{SC}	4	14	0.78	0.76	/					
			4	21	0.55	0.55						
			4	28	0.26	0.26						
	1		4	16	1.38	1.36						
			4	23	1.27	1.22						
			4	30	0.59	0.57						
りんご (露地・無袋) (果実) 平成 20 年度	1	5,000 ^{SC}	4	14	/		1.09	1.08				
			4	21			0.96	0.96				
			1	4			14	0.39	0.38			
	4			21			0.38	0.38				
	なし (露地・無袋) (果実) 昭和 55 年度			1			2,330 ^{WP} 5 回 2,670 ^{WP} 4 回	9	3	0.90	0.89	0.99
			9					7	0.58	0.58	0.39	0.36
9		14	0.17		0.17	0.16		0.14				
1		1,670 ^{WP}	9	3	0.60	0.58		0.74	0.74			
			9	7	0.68	0.67		0.67	0.64			
			9	14	0.60	0.60		0.52	0.48			
なし (露地・無袋) (果実) 平成 3 年度	1		1,750 ^{SC}	7	3	1.13	1.08	0.94	0.93			
				7	7	0.81	0.81	0.54	0.52			
				7	14	0.38	0.36	0.43	0.42			
	1	1,400 ^{SC}		7	3	0.71	0.69	0.79	0.78			
				7	7	0.41	0.40	0.26	0.25			
				7	14	0.33	0.32	0.25	0.24			
1	2,000 ^{WP} 2 回 1,750 ^{SC} 7 回		9	3	0.55	0.52	0.48	0.46				
			9	7	0.35	0.34	0.19	0.18				
			9	14	0.17	0.16	0.13	0.12				
1		2,000 ^{WP} 2 回 1,400 ^{SC} 7 回	9	3	0.92	0.91	0.91	0.91				
			9	7	0.21	0.20	0.29	0.29				
			9	14	0.13	0.12	0.16	0.16				
なし (露地・無袋) (果実) 平成 4 年度	1		2,190 ^{SC}	9	3	1.02	1.02	0.95	0.86			
				9	7	0.61	0.60	0.56	0.56			
				9	14	0.29	0.28	0.28	0.28			
	1	1,400 ^{SC}		9	3	0.70	0.68	0.79	0.78			
				9	7	0.44	0.44	0.55	0.53			
				9	14	0.38	0.38	0.29	0.28			
なし (露地・無袋) (果実) 平成 5 年度	1		1,750 ^{SC}	9	3	/		0.91	0.88			
				9	7			0.54	0.52			
				9	14			0.63	0.63			
	1	3,000 ^{WP}		9	3			0.23	0.20	0.26	0.25	
				9	7			0.19	0.18	0.28	0.26	
				1	2,670 ^{WP}			16	6	0.21	0.20	0.39
なし (無袋) (果実) 昭和 49 年度	1		2,670 ^{WP}			9	3	0.034	0.028	0.035	0.032	
						9	7	0.100	0.084	0.126	0.110	
				1		6,000 ^{WP}	1	166	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1	6,000 ^{WP}					1	190	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)					
					オキシシン銅					
					公的分析機関		社内分析機関			
					最高値	平均値	最高値	平均値		
なし (無袋) (果実) 平成1年度	1	1,310 ^{SC}	5	3	/	/	/	/	0.28	0.25
			5	7					0.19	0.18
			5	14					0.16	0.14
			7	3					0.39	0.38
			7	7					0.32	0.29
			7	14					0.09	0.08
			7	14					0.09	0.08
	1	1,750 ^{SC}	5	3					0.24	0.24
			5	7					0.22	0.21
			5	14					<0.05	<0.05
			7	3					0.36	0.34
			7	7					0.28	0.26
			7	14					0.13	0.12
			7	14					0.13	0.12
なし (露地・無袋) (果実) 平成20年度	1	5%PF30g/樹	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	1	5%PF 30~35g/樹	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
もも (露地・有袋) (果肉) 昭和53年度	1	2,400 ^{WP}	5	112	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
	1	1,800 ^{WP}	5	86	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
もも (露地・有袋) (果皮) 昭和53年度	1	2,400 ^{WP}	5	112	<0.05	<0.05	<0.04	<0.04		
	1	1,800 ^{WP}	5	86	<0.05	<0.05	<0.04	<0.04		
もも (露地) (果肉) 平成7年度	1	2,630 ^{SC}	5	110	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	1	2,190 ^{SC}	5	110	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
もも (露地) (果皮) 平成7年度	1	2,630 ^{SC}	5	110	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05		
	1	2,190 ^{SC}	5	110	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05		
もも (露地・無袋) (果肉) 昭和53年度	1	4,800 ^{WP}	3	118	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
	1	1,600 ^{WP}	3	80	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
もも (露地・無袋) (果皮) 昭和53年度	1	4,800 ^{WP}	3	118	0.04	0.02	<0.04	<0.04		
	1	1,600 ^{WP}	3	80	0.09	0.07	<0.04	<0.04		
もも (露地・無袋) (果肉) 平成6年度	1	3,200 ^{WP}	5	103	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	1		5	103	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	1		5	103	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	1		5	103	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
もも (露地・無袋) (果肉) 平成21年度	1	4,070 ^{SC}	5	60	<0.01	<0.01	0.03	0.02		
	1	2,440 ^{SC}	5	64	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
もも (露地・無袋) (果肉) 平成21年度	1	2,440 ^{SC}	5	60	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	1		5	64	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
もも (露地・無袋) (果皮) 平成 21 年度	1	4,070 ^{SC}	5 5	60 64	0.08 0.07	0.08 0.07	<0.05 <0.05	<0.05 <0.05
	1	2,440 ^{SC}	5 5	60 64	0.11 0.11	0.11 0.10	0.05 0.07	0.05 0.06
もも (露地・無袋) (果実) 平成 20 年度	1	5%PF30g/樹	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1	5%PF 45~60g/樹	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
もも (露地・無袋) (果皮) 平成 20 年度	1	5%PF30g/樹	3	7	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	1	5%PF 45~60g/樹	3	7	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ネクタリン (露地・無袋) (果実) 平成 16 年度	1	2,400 ^{WP}	1	143	/		<0.01	<0.01
ネクタリン (露地・無袋) (果実) 平成 17 年度	1	2,400 ^{WP}	1	142	/		<0.01	<0.01
ネクタリン (露地・無袋) (果実) 平成 17 年度	1	2,400 ^{WP}	5	116	<0.05	<0.05	/	
	1		5	87	<0.05	<0.05	/	
うめ (無袋) (果実) 平成 20 年度	1	5%PF30g/樹	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
うめ (無袋) (果実) 平成 21 年度	1	5%PF30g/樹	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
おうとう (施設) (果実) 昭和 60 年度	1	6,000 ^{WP}	3	283	/		<0.01	<0.01
おうとう (露地) (果実) 昭和 60 年度	1	6,000 ^{WP}	3	254	/		<0.01	<0.01
おうとう (露地) (果実) 平成 4 年度	1	3,500 ^{WP}	3	291	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1	2,000 ^{WP}	3	293	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
おうとう (施設・無袋) (果実) 平成 9 年度	1	3,500 ^{SC}	3	315	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
	1		3	277	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
おうとう (施設・無袋) (果実) 平成 19 年度	1	2,000 ^{SC}	3	314	/	/	/	/
			3	317				
			3	321				
	1		300					
	3		303					
3	307							
おうとう (施設・無袋) (果実) 平成 21 年度	1	2,670 ^{WP}	3	226	/	/	/	/
	1	2,690 ^{WP}	3	270				
おうとう (施設・無袋) (果実) 平成 20 年度	1	5% ^{PF} 30、35g/樹	3	7	/	/	/	/
	1	5% ^{PF} 30g/樹	3	7				
ぶどう (露地・無袋) (果実) 昭和 53 年度	1	2,000 ^{WP}	1	61	0.96	0.94	0.660	0.620
			1	76	<0.04	<0.04	0.280	0.260
ぶどう (露地・無袋) (果実) 昭和 53 年度	1	1,670 ^{WP}	1	60	<0.04	<0.04	0.052	0.048
			1	76	<0.04	<0.04	0.028	0.020
ぶどう (施設・無袋) (果実) 平成 2 年度	1	1,330 ^{WP}	4	46	0.09	0.08	0.12	0.11
			4	45	0.27	0.24	0.20	0.20
ぶどう (露地・無袋) (果実) 平成 4 年度	1	1,750 ^{SC}	4	45	0.14	0.13	0.12	0.12
			4	45	0.32	0.32	0.32	0.32
ぶどう (施設・無袋) (果実) 平成 16 年度	1	3,000 ^{SC}	3	87	0.16	0.16	0.13	0.12
			3	107	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ぶどう (施設・無袋) (果実) 平成 20 年度	1	3,620 ^{SC} 3 回 2,000 ^{SC} 1 回	4	56	0.07	0.07	0.11	0.11
ぶどう (施設・無袋) (果実) 平成 21 年度	1	3,620 ^{SC} 3 回 2,000 ^{SC} 1 回	4	56	0.45	0.45	0.42	0.40
かき (露地・無袋) (果実) 平成 4 年度	1	6,250 ^{WP}	5	14	0.57	0.56	0.78	0.76
			5	21	0.52	0.50	0.80	0.78
			5	28	0.60	0.60	0.53	0.53
			5	14	0.75	0.74	0.90	0.85
			5	21	0.87	0.82	0.98	0.96
5	28	0.98	0.95	0.97	0.95			
マンゴー (施設・無袋) (果実) 平成 17 年度	1	5% ^{PF} 4g/樹	1	60	<0.2	<0.2	/	/
	1	5% ^{PF} 2g/樹	1	60	<0.2	<0.2		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験圃 場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					オキシシン銅			
					公的分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
いちじく (露地・無袋) (果実)	1	1,280 ^{SC}	3	63	<0.05	<0.05	0.03	0.03
			3	77	<0.05	<0.05	0.01	0.01
			3	91	<0.05	<0.05	0.01	0.01
平成15年度	1	2,330 ^{SC}	3	63	<0.05	<0.05	0.07	0.07
			3	77	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
			3	91	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01

注) ai : 有効成分量、PHI : 最終使用から収穫までの日数、WP : 水和剤、SC : フロアブル剤、
PF : 塗布剤、G : 粒剤
・データが定量限界未満の場合は定量限界値の平均に<を付して記載した。

<参照>

1. 食品、添加物等の規格基準（昭和 34 年厚生省告示第 370 号）の一部を改訂する件（平成 17 年 11 月 29 日付、平成 17 年厚生労働省告示第 499 号）
2. 農薬抄録 オキシ銅（殺菌剤）（2012 年）：アグロ カネシヨウ株式会社、サンケイ化学株式会社、日本農薬株式会社、一部公表
3. 有機銅の作物残留試験成績：日本農薬株式会社、1993～2009 年、未公表
4. 食品健康影響評価について（平成 24 年 8 月 21 日付け厚生労働省発食安 0821 第 5 号）